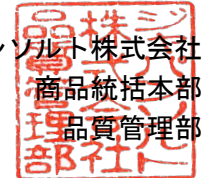


作成日：2012年06月27日  
改訂7版：2022年07月20日

## 製品安全データシート

ジャパンソルト株式会社



### 1. 製品及び会社情報

製品名：塩化カルシウム（工業用・融雪用）

会社名：ジャパンソルト株式会社

住 所： 東京都新宿区神楽坂 6-8-30  
担当部門： 品質管理チーム  
電話番号： 03-5843-7777  
FAX： 03-3527-9994  
緊急連絡先： 03-5843-7777

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類： 本商品に関するデータがないため、GHS 分類できない。  
現時点では物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ラベル要素： 該当なし  
絵表示又はシンボル

注意喚起用語： 該当なし

#### 危険有害性情報

最重要有害性： 該当なし  
有害性： 経口；大量に飲み込むと、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状が現れることがある。  
吸入（粉じん）；有害性は低いですが、大量に吸入すると、粘膜刺激、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状が現れることがある。  
皮膚、眼；皮膚、眼に対して刺激、炎症が現れることがある。  
暴露；反復暴露により、有害性（不快感、頭痛）が起きることがある。

環境影響： 少量の場合は環境への影響は小さいが、大量に放出すると、水生生物、植物、微生物などに有害である。

物理的及び化学的危険性：

## 注意書き

通常の取扱いで、危険性は低い。

### 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。  
屋外又は喚起の良い区域でのみ使用すること。  
粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

### 【応急処置】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。  
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
吸入した場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

### 【保管】

容器を密封して換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。

### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名：	塩化カルシウム 2 水和物
別名（英名）：	Calcium Chloride dihydrate
成分及び含有量：	72～95%
分子式及び示性式：	CaCl <sub>2</sub> · 2H <sub>2</sub> O
分子量：	147.01
CAS 番号：	10035-04-8
危険有害性成分：	特になし

## 4. 応急処置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：	水と石鹼で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予測される急性症状及び遅発性症状：  
情報なし

#### 5. 火災時の措置

消火剤： 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
特有の危険有害性： 不燃性であり、それ自体は燃えないが、加熱されると分解し、  
腐食性又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。  
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。  
特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
風上から消火し、環境へ流出しないように漏洩防止処置を施す。  
消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
危険な場所への無関係者及び保護具未着用者の立入りを禁止する。  
密閉された場所に立入る前に換気する。  
環境に対する注意事項： 環境中に放出してはならない。  
回収、中和： 漏洩物を収集し、安全な場所へ保管後、廃棄処理を行う。  
封じ込め及び浄化方法・機材：  
安全確認がとれた後に漏れを止める。  
二次災害の防止策： 情報なし。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。  
安全取扱い注意事項： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。  
飲み込まないこと。  
眼に入れないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
接触回避： 「10. 安全性及び反応性」を参照。

##### 保管

技術的対策： 特別に技術的対策は必要としない。

混触危険物質： 「10. 安全性及び反応」を参照。  
保管条件： 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。  
容器包装材料： データーなし。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されてない。  
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：  
日本産衛学会（2006年版）；設定されていない。  
ACGIH（2007年版）；設定されていない。  
設備対策： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。  
保護具：  
呼吸器の保護具； 適切な呼吸器保護具を着用すること。  
手の保護具； 適切な保護手袋を着用すること。  
眼の保護具； 適切な保護具を着用すること。  
皮膚及び身体の保護具； 適切な保護衣を着用すること。  
衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 9. 物理的及び化学的性質：

##### 物理的状态

形状； 固体  
色； 白色  
臭い； 無臭  
融点・凝固点： データーなし  
沸点、初留点及び沸騰範囲： データーなし  
引火点： データーなし  
自然発火温度： データーなし  
爆発範囲： データーなし  
蒸気圧： 0.01mmHg（20℃）  
溶解度： 水に溶けやすい。又アルコール、グリセリンに溶ける。  
オクタノール・水分配係数： データーなし  
分解温度： データーなし  
粘度： データーなし  
粉じん爆発下限濃度： データーなし  
最小発火エネルギー： データーなし

#### 10. 安全性及び反応性

安定性： 通常の手扱いにおいては安定である。  
危険有害反応可能性： 高温で加熱や燃焼すると分解し、有害で腐食性のヒュームを

生じる。  
水溶液は弱塩基性である。  
少量の水と混触すると発熱する。  
避けるべき条件： 高温での加熱や燃焼、直射日光、湿気。  
混触危険物質： 水、亜鉛等。  
危険有害な分解生成物： 有害で腐食性のあるヒューム。

## 1 1. 有害性情報

### 急性毒性

経口； 大量に飲み込むと、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状が現れる。

ラット TDLo=243mg/kg35W-C (RTECS)

ラット TD50=1kg/kg (無水物)

マウス LD50=1.94kg/kg (無水物)

### 腹腔

マウス LD50=20.5kg/kg (RTECS)

### 吸入 (粉塵)

のど、気管、鼻の粘膜が刺激されることがある。

皮膚腐食性・刺激性：皮膚に付着すると、刺激、炎症が現れることがある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：

眼に入ると、刺激、炎症（結膜炎）が現れることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

データなし

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：

情報なし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：

反復暴露により、有害性（不快感、頭痛）が起きることがある。

吸引性呼吸器有害性： データなし

## 1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性： データはなし。

水に溶けやすいので、大量に放出されると有害である。

水生環境慢性有害性： データはなし。

水に溶けやすいので、大量に放出されると有害である。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って、危険有害性レベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従って処理をすること。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って処分をすること。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際法規

海上規制情報； 該当せず

航空規制情報； 該当せず

##### 国内法規

陸上規制情報； 該当せず

海上規制情報； 該当せず

航空規制情報； 該当せず

特別安全対策： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れ防止対策を確実に行う。  
食品や肥料と一緒に輸送してはならない。  
重量物を上積みしない。

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法； 該当せず

毒物及び劇物取締法； 該当せず

消防法； 該当せず

船舶安全法； 該当せず

航空法； 該当せず

#### 1 6. その他の情報

GHS 分類結果データベース（独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP）

GHS モデル MSDS 情報（中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP）

- ※ このデータは作成時における知見によるものでありますことから、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではございませんので、取扱いには十分注意をお願いいたします。
- ※ 注意事項などは通常の実施を前提としたものです。特殊な取扱いの場合にはその点にご配慮の上、ご使用をお願いいたします。
- ※ 新規情報を入手した場合には、文書の追加又は訂正を行うことがございます。
- ※ 記載内容につきましては保証値ではございませんのでご了承願います。